

平成 30 年 4 月実施—議会報告会・意見交換会記まとめ

場 所：向 原 地 区（平成 30 年 4 月 20 日）

総務環境常任委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
IC カード	<ul style="list-style-type: none"> ・ IC カードは JR 東日本と JR 東海で互換性がないが、どうかならないのか。 ・ 国府津駅の御殿場線乗り場に JR 東日本と JR 東海の端末があれば精算できる。 ・ そうなったとしても通勤の人は意味がないのでは。 ・ 関西圏では私鉄と JR と全部同じカードで使えている。そのうちできる。 ・ 新松田への利用者は結構いるので半分くらいは便利になる。パスモやスイカも使える。 ・ IC カードが 31 年に実現。システムを変えるには費用がかかる。簡易的な方法を取り入れるとか、カードの共用化も含め改善して欲しい。 ・ 下曽我駅以降の検討はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 東海、JR 東日本双方と話し合い、来年度から国府津駅への設置も要望していく。 	
御殿場線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御殿場線は雨や風ですぐに運休となる。通勤者が困っているのを、 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他からも出ているので、議会としても町を通じて行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御殿場線利活用推進協議会では、度々要望してきている。

<p>ユーシン</p>	<p>何とかならないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各駅に雨量計等あり、それが規定に達すれば止まるシステムになっているから難しい。 ・ユーシンの新青崩隧道は、明かりが全くなく、真っ暗である。懐中電灯を持参しないハイカーもいるため、何とかならないのか。 ・ユーシンは県の管理。 ・ユーシンへの道は、バスを通したらどうか。観光として魅力が出る。 ・林道だから観光としては利用できない。要望書を出し、回答をもらっている。 ・県がだめだと言っても、それを訴えるのが町の仕事ではないか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・玄倉からユーシンまでの間は県の林道なので、すぐに改修することは難しい。
<p>登山届</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登山客が道の駅に泊まっているが、登山届を出すことができないか。 ・その管理は誰がやるのかが問題。 		
<p>道志村へのトンネル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・莫大な金をかけて作ってもメリットがあるのか。 ・ごみを捨てられ素通りされるのでは困る。 ・町のさびれに拍車がかかる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・行き止まりが解消されることで、回遊性が生まれ、観光的な魅力が増す。また、災害時には迂回路となる。 ・昨年から道志村議会と協議を始めた。

秦野峠林道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の指導で通れない。 ・ 災害時の迂回路として使わせてもらう方法から進めるしかない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 松田町議員と連盟をつくり、林道としての利用だけでなく、連絡道としての利用についても協議し活動している。
道路計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ さくらの湯から鉄道公園の脇を通る道路は狭く整備されていない。町の道路整備計画はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路計画は、総合計画等で議会としてもチェックしている。 	
ビジターセンターの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県から払い下げられたビジターセンター等の活用と運営は、長期ビジョンで計画し、人が代わってもリンクしていくシステムを作るべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画は30年度で見直しすることになっている。議会も共にチェックしていく。 ・ 委員会では2年かけて県の緊急財政対策で廃止とされたユーシンや大野山などと共に調査、研究をし、町・県に提言してきた。その後地域に繋ぎ、詳細を地域で検討することになると考えている。 	
東名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新東名工事終了後の宿舎跡地はどのように利用していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的に検討して使い方を考え、提案していくようにしたい。 	
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口統計数値は新聞発表数字と町の数字が違うのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町は毎月の人口推移を住民基本台帳の数値で発表しているが、違いは後日報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町は5年ごとの国政調査の人口を元に毎月の新生、死亡、転入、転出、男女別数字を県に報告している。県はこれを配信している。 ・ 神奈川新聞は県の数字を掲載している。

林業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業の振興は調査研究とあるが、議員の取り組みは。小山町の木材ペレット工場等の利用はできないか。また、近隣町との広域連携は重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共和地区は広葉樹による森の再生、植林、消費地への販路拡大等の活動をしている。川崎市との交流には議員等も参加し交流を深めている。 ・ 村上市の集成材産業の育成等先進例についても研究している。林業で収益が上がる地域づくりが目標。 	
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人の流出を食い止めるには、企業誘致等で仕事場を増やす。交通の便を良くすることが必要と考えるがどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東山北駅前の住宅対策や空き家、新築対策、いろいろな子育て対策をしているが、厳しいことは認識している。その点を踏まえて検討している。 ・ 小山町の内陸フロンティアの受け皿も考えている。 	
ジビエ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジビエ処理場を作って働き場を提供したらどうか。 ・ ジビエの取り組み状況は。 ・ 捕獲するだけでなく、販売や流通などができれば経済循環に繋がるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県 of 厳しい衛生規制がある。現状は費用対効果が見込まれない状況でさらに研究していく。 ・ ジビエにできる鳥獣は箱罠で捕獲したものでないと食肉加工ができない。 ・ ジビエを一つの産業にするのは費用対効果から難しい。 ・ 鳥獣被害の根本的な要因である山林整備を進め、鳥獣が山から下り 	

<p>山北体育館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山北体育館はどうなるのか。 	<p>てこない環境を作ることが重要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジビエカーで一次処理はできるが、二次加工所を備えてなければ、車両を持っていても意味がない。昨年度まで県の取り組みで進めてきたが、県保健所の規制や費用対効果等を見て、次に名乗り出る民間業者が現れず、進展していない。 ・ 取り壊しは決まったが、後の利活用は検討中ある。 	
<p>山北中学校プール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尺里地区のこども広場が東名工事によりなくなっている。山北中学校プール跡地が活用できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町への要望事項として要望して欲しい。 	
<p>鳥獣対策・被害</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1頭 3,000 円は猟友会にはもらえない。実際は弁当代程度。 ・ 狩猟者が減っており後継者が育たない ・ 尺里の山ではイノシシ被害が多数。ミカンの新芽やタケノコなどほとんど食われてしまう。 ・ 鹿は電気柵を飛び越えては来ないので有効な手段。 ・ 猿の被害はない。 ・ マダニやヤマビルの被害は尺里では聞かないが、高松にはいるらし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1頭 3,000 円は狩猟者ではなく止め刺しをされた方に支給される制度である。県や国の制度を活用できる仕組みを委員会で検討していく。 	

<p>魅力的な街づくり</p>	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの山北町をどうするのか、議会のグランドデザインが見えない。 ・個々の観光スポットを結ぶ交通手段がない。新松田や南足柄を拠点とし、山北の観光地を巡るツアーなど、人が集い、お金が落ちる仕組みを考えてはどうか。 ・自然も多いが活かされていない。スマート IC や道の駅を拠点に自然を活かした山北オリジナルの町づくりを。 ・インターネット、IT 技術と自然をリンクさせた町づくりも必要では。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会としてもこれまで進めてきた議会改革の中で、委員会活動を充実させ、観光なのか、自然なのか、技術なのか、しっかり方向性をもったグランドデザインを示し、提言していく必要があると考える。 ・中川温泉旅館組合などでは、観光地を巡って中川温泉に宿泊してもらったツアーなど、新たな取り組みも企画検討している。今後、観光地という点を線で結べる取り組みをしていきたい。 	
<p>ふるさと納税</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の返礼品は新たなものを要望しても採用されにくいと聞く。 ・新たな返礼品を要望してもある程度継続して提供できる品物を選別しているのでは。 ・税収を上げるよりも町の PR ができる事業を積極的に活用して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国はふるさと納税の返礼品競争に規制をかけていく方針であり、今後制度自体が長く続く事業であるとは思えない。ただ、山北と納税をしてくれた他の地域の方と繋がる良い機会なので、新たな返礼品は注視していきたい。 	

大型車両の通行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村雨地区、山北高校前の細い道路に大型車が通行する。他に広い道路があるのに、なぜあの道路を通るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理由は定かでないので、町に確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道721号線、東山北停車場線は地域の申し出により、大型車の通行が禁止されている。しかし、観光バスなど、届出した車両は通行できている。
スマート IC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新東名は東京方面だけしか使えないのなら、利用者は少ないと思う。せめて双方向利用できるようにしてほしい。 ・ 南箱道路や道志とつなげ、山北に人の流れをつくる幹線道路としてしっかりと働きかけてほしい。 		
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玄倉のビジターセンターや薬草園などの活用状況は。 ・ 薬草園は町の花や山菜、薬草などを振る舞うには非常に良い施設になると思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーシンの林道復旧工事を優先に進めている状況。継続的にビジターセンターや薬草園の民間譲渡を進めている。 ・ 薬草を利用したハーブティの提供などは、ユーシンを訪れる観光客へのおもてなしとして良いアイデアだと思う。 	
福祉教育常任委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
在宅での看取り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅での看取りが多くなれば、介護保険料は安くなる。 ・ 施設利用者が減少するので、下が 		

	<p>る可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援、要介護の決め方がおかしい。 		
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の人口予測は 11,000 人を目標としているが、この人口減少をどう食い止めるのか。 ・子育てしやすい町を PR をすれば、山北にも住みたいと思うのではないか。 		
こども園	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園が 1 年では現状把握が難しいとした理由は何か。 		
待機児童	<ul style="list-style-type: none"> ・町の待機児童はいるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開園 3 カ月の頃、聞き取りをした。その際出た問題は、新しい体制に慣れないために生じたものが多く、時間が解決すると感じた。
窓口の一本化	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口の一本化はどのような問題があるのか。 ・御用聞きスペースに各課の職員が出向き、利用者が回らないよう配慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・町の 1 階にご用聞きスペースを置き、ワンストップサービスを行っているので、複数の課を移動することなく対応できる。基本的には問題ない。
河村城址	<ul style="list-style-type: none"> ・河村城址の説明文が全部腐食して読めない。 ・登ってきた方に、景色が見えないと言われた。木を切って欲しいと 5 年越しに言っているが、一向に実現しない。 		

定住対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り壊した町営住宅の跡地の再活用計画はどうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅の土地は民地が多いので、所有者と協議する。 ・ 町住宅マスタープランに沿って検討していく。
------	---	--	--

あり方検討委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
議員定数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員は5人から7人で良いが、生活できるように年収600万円以上出し、通年機会にする。 ・ 人口とスライドさせていくべきである。 ・ 町民意見の反映とあるが、どんなことをしているのか。 ・ 連合自治会長さんの報酬を上げて、議員の役をさせてはどうか。 ・ そんなことをしたら自治会長をやる人がいなくなる。 ・ 人数を減らして報酬を上げる。 ・ 議員が必要だと地域の人が見えれば、現状で。議員の動きが見えてこないで減らす。議員の姿勢はどうか示した方が良くと思う。 ・ 何名でなく、活動内容で決まる。町民の理解で決めれば良い。 ・ 活動範囲が広ければ増やすことも出来る。 		あり方検討委員会で検討している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中身次第で13名でも15名でも出来る。 ・ 一人一人の議員が今期はこういうことをやったとパンフレットを頂くが、町民には成果が見えない。進化とは言えない。 ・ 議員の定数の判断基準として人口、財政力によるのではないか。地域代表のような性格もある。 ・ 現状は減数が必要ではないか。8人位にして若い人が生活できる報酬にすることが必要だ。 ・ 若手が議員として出るには定数を減らして報酬を上げることが必要では。働きながら議員活動するのは理解が得られずハードルが高い。 ・ 定数を削減した場合は議員個人が全町の課題を把握して貰わないと困る。覚悟があるかまた可能か。 ・ 岸と向原で2名、他の地区は1名程度の10人で十分では。 ・ インターネットも整備されているので、うまく使えば少ない人数でもやれるのでは。 ・ 常任委員会に数名、議決項目など重要議会の時に、日当制で兼任議会などを設置するなどの仕組みとしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口、財政力、地域性、活発な委員会や議会活動ができる人数は、町民の意見を顔の見える関係で聞くには何人が適切か等検討している。 ・ 次期に出る人の準備期間を考慮して6月を目途に結論を出す。 ・ 山北町は政務活動費、政務調査費等は支給していない。 	
--	--	---	--

<p>議員のなり手不足</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口比率と定数は密接なのでは。ただ、面積も広いので12名程度は必要。 ・病欠での報酬削減だが、好きで病気にはならない。なり手がいないのは生活が掛かっているからで、一定の保障がないと、なり手はますますいなくなる。 ・議員年金も無く、報酬も少ない。観光などの資源を活用して収入を増やし、議員の報酬を上げる。 ・地域住民の声は、自治会長の方がよく知っている。 ・定数よりも議員のなり手がいない、そこが一番の問題だと思う。 ・小さい町であるため、選挙の時は人間関係が崩れるなど、いい印象がない。そうしたことから若者の政治や選挙離れは顕著。なり手不足は今後も続くと思う。 		
<p>町民意見の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議員は町民意見の反映をしているのか。議員が町民の中に入り反映させているのを見たことがない。 ・4月の地域要望を出すとき、議員が出てくれば地域のことが良くわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員個々にはやっている。 ・地域の打ち合わせに出てくるように、地域住民皆様が議員に提案して欲しい。 	

<p>議会のビジョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体だけでは意見が偏ってしまう。行く人と行かない人が出てくる。 ・ 委員会の資料で推進中、検討中で成果報告はなかった。検討中にしても具体的な報告をしてほしいと思った。 ・ 議会は山北の将来展望をどのようなビジョンで進めようとしているのか町民には見えない。観光資源を有効活用し、活性化させるとかなどの具体的なビジョンを聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車座集会で皆さんにお話を伺うことに時間を取りたいと考え、資料も簡略化して説明も短くした。詳しい説明はご質問やご意見の中でするように考えている。 	
<p>役場の職員は</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員定数も検討課題だけど、役場の職員はどうなってるのか。 ・ 再任用でやっている。 		

その他	参加者意見	当日の答弁	調査結果
<p>地域の盛り上がり</p> <p>自治会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が盛り上がらないと町の活性化には繋がらない。 ・連合自治会長の負担を減らすべきという意見があり、福祉バザーを止めた。 ・スポーツフェスティバルは、人集めが大変だと言ってやらなくなった。 ・清水地区は体育振興協議会を作って、地域を盛り上げている。 ・地域の協力性が薄れてきている。 ・まとまりのある共和地区とは何が違うのか。 ・地域性が違う。横のつながりがある。 ・共和地区の方に共和の団結力の強さについて聞くと「私たちは自分たちでやっていかなければ、共和は消滅してしまうという危機感がある」と言っていた。 ・向原や山北には危機感がない。 <ul style="list-style-type: none"> ・町の組織の中に自治会を援助、連携を強化するような部所がない。開成町には2年前から自治会対策課ができた。自治会長研修会は1回だけなので連携が悪い。改善し 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実に地域の問題を経験している方なので、連携を取ることの大切さを町に声を出していくことが大事と考える。 	

	<p>て欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会で地域教育の再生に取り組んでいるが、学校が自治会に出て来ないので、情報の共有が出ず活動が難しい。 ・どんどん焼きの時に、子ども達にどんどん焼きのいわれのピラを作り配った。地域で教えることも良い事なので町もバックアップして欲しい。 		
<p>ごみ収集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋に名前を書きたくないという人がいる。出入りの激しい地域のため、その都度周知するのが難しい。 		
<p>町民の姿勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町民自体がこれから町をどうしていくのか。まずは自分たちで考えていかなくてはならない。議員任せや文句ばかり言っている人が多い。 		
<p>車座集会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のスタイルは議員と直接話ができる非常に良い機会だと思う。 ・他のグループの声も聴きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の車座集会をかわきりに、今後いろいろな団体と意見交換の場を設け、町民と議員がしっかりと向き合う環境を作っていきたい。 	

町の花	・役場庁舎正面駐車場に町の花であるヤマブキを植えたらどうか。	・他のグループの集約結果はホームページ等で周知する。	
-----	--------------------------------	----------------------------	--